

Yカラー 手引書

2023年3月19日版

1. 目的

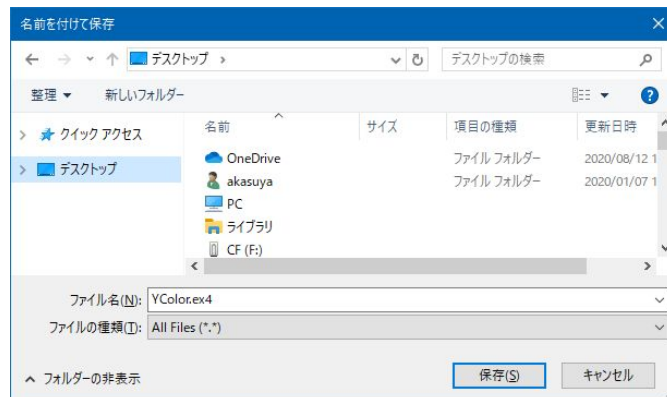
MT4チャートにて手動でマーク付けする時の補助ツールである。

2. 基本仕様

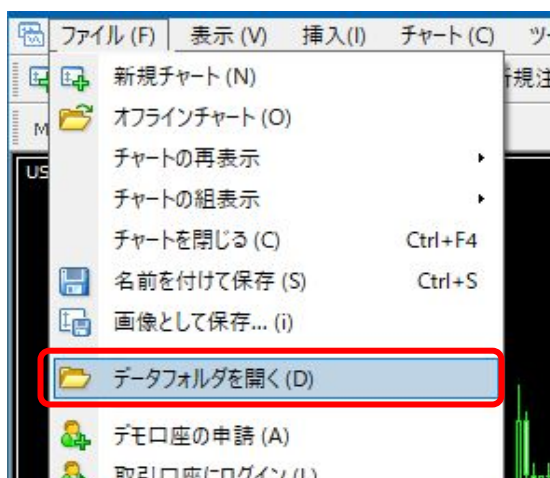
- 指定のMT4口座番号のみで動作可能。
- パレットの表示場所(左上、中央、右上)を選択できる。
- 高値・安値マークで使用する 11色の長方形を作成できる。
- 選択した長方形をクリックした色に変更できる。(複数を一括変更可能)
- 選択した長方形を「色の格上げ・格下げ」ができる。(複数を一括変更可能)
- 選択した長方形を「くり抜き削除」できる。(複数を一括変更可能)
- 範囲選択により複数の長方形を選択状態にできる。
- すべての長方形を一括で選択解除できる。
- 十字カーソルを複数のチャート間で同期表示できる。
- マウスカーソル上のローソク足の高値・安値を表示できる。
- トレード履歴を表示できる。
- 画面のスクリーンショットをクリップボードにコピーできる。
- 短い水平線を作成できる。
- 同期垂直線を作成できる。
- ショートカットキーによる操作もできる。

3. 導入手順

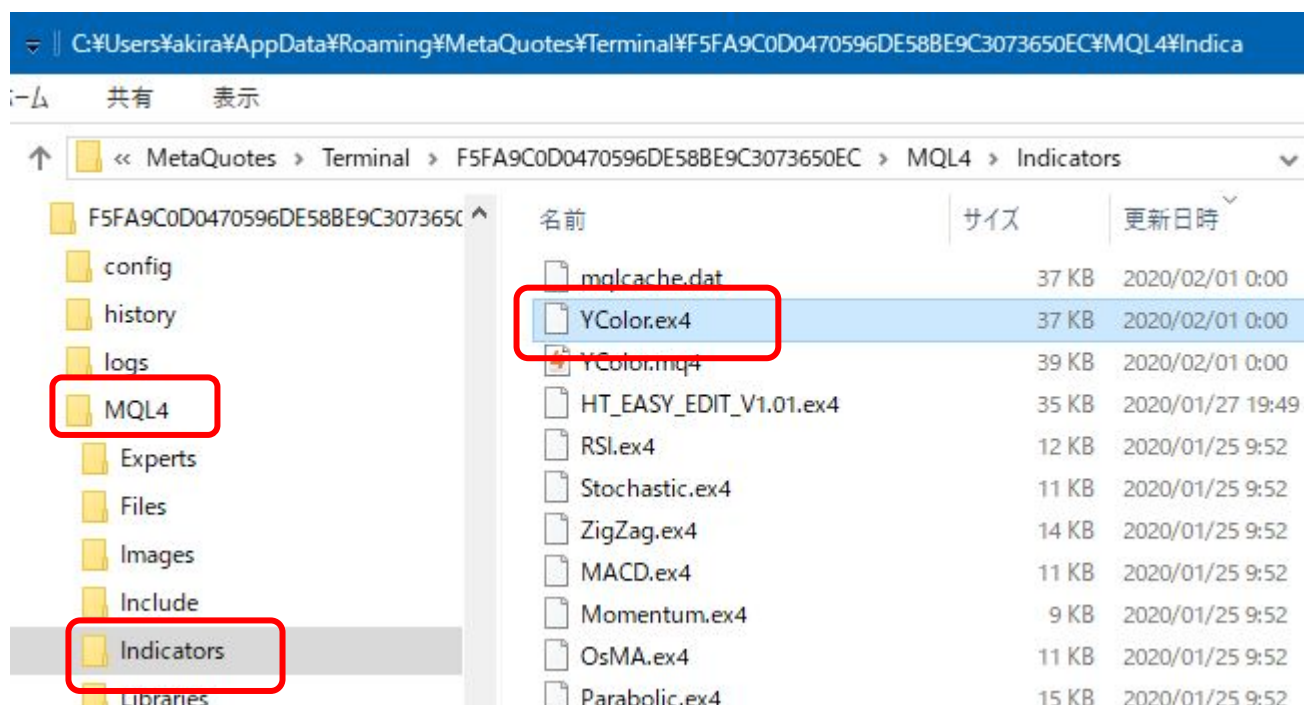
3-1. YColor.ex4 を右クリック → 「名前を付けて保存」を選択し、
デスクトップ等に保存する。



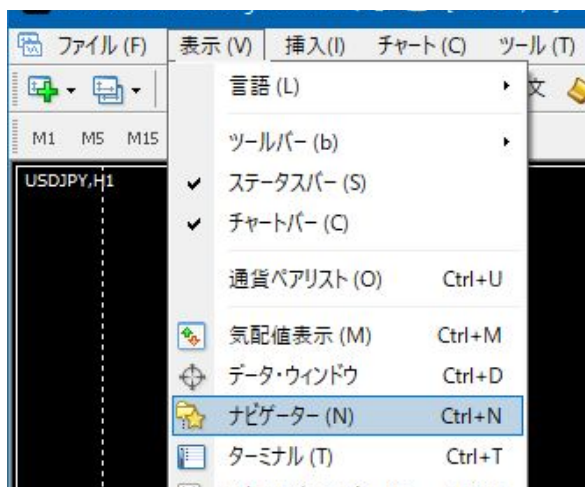
3-2. MT4:[ファイル] → [データフォルダを開く]



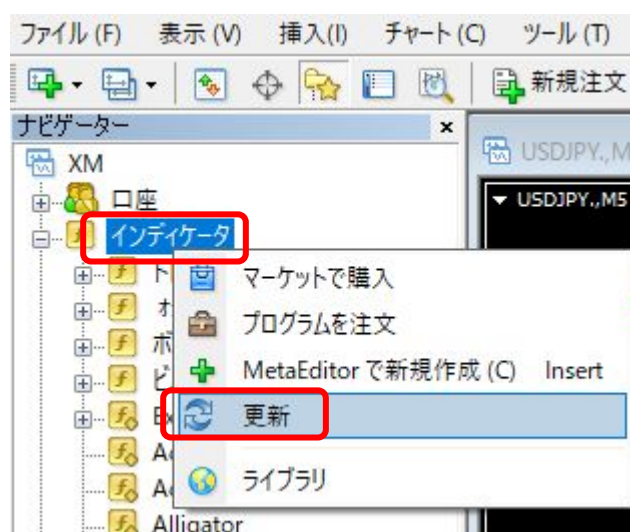
3-3. MQL4 → Indicatorsのフォルダに、3-1 で入手した「YColor.ex4」を
貼り付ける。



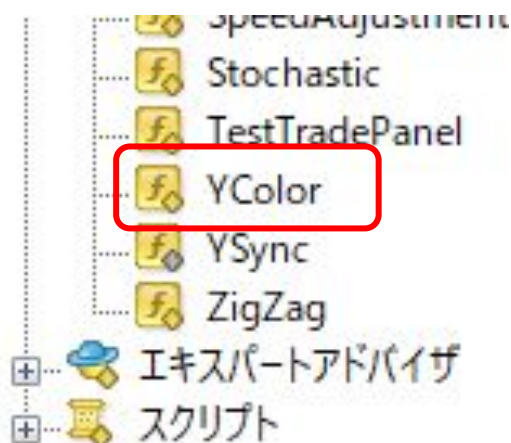
3-4. [表示] → [ナビゲーター] を選択。



3-5. 「インディケーター」を右クリック → [更新] を選択。



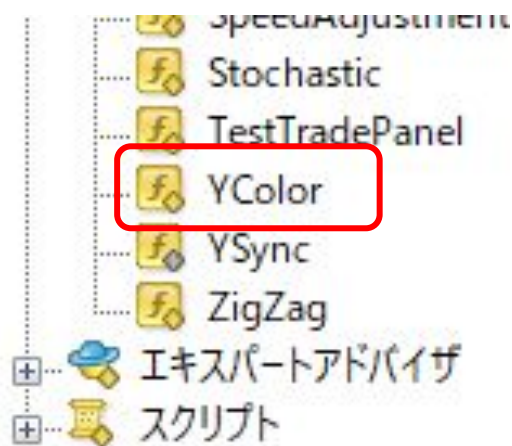
3-6. YColor が表示される。



4. 設定手順

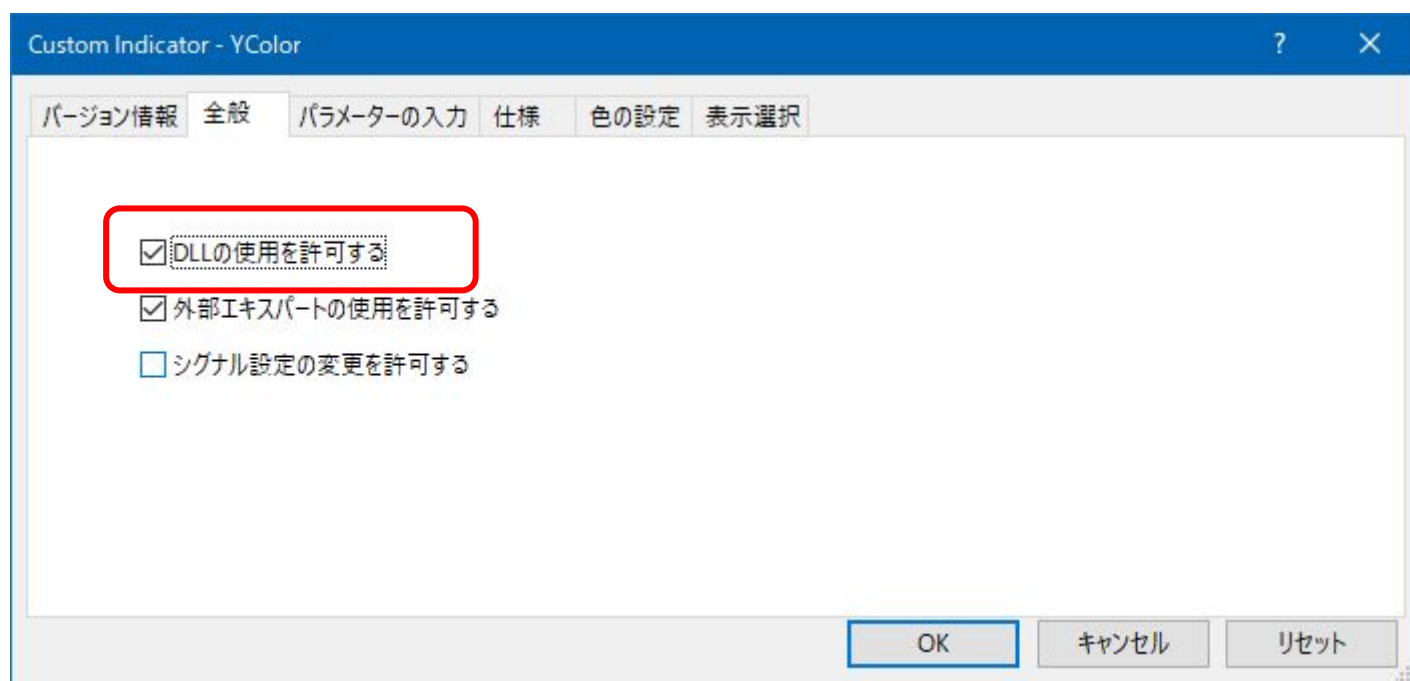
4-1. Yカラーを適用するチャートを前面に表示する。

4-2. [ナビゲーター]に表示されている YColor をダブルクリックする。
または、設定したいチャートにドラッグ & ドロップする。



4-3. ポップアップ画面が表示される。

「全般」タブで「DLLの使用を許可する」を ON にする。



「パラメーターの入力」タブで、設定値を変更可能。

Custom Indicator - YColor

バージョン情報 全般 パラメーターの入力 仕様 色の設定 表示選択

変数	値
■ YColorパネル	
パネルの表示方向	縦
パネルの配置基準	右上
パネルの表示行数	2列表示
パネルの表示開始位置	10
■ グリッド	
グリッドを表示する	true
グリッドの線の色	DimGray
グリッドの線の種類	Dot
期間区切り線の色	Silver
期間区切り線の種類	Dot
グリッドの日時表示の文字サイズ	10
グリッドの日時表示の文字色	White
■ 時間帯の区分け	
東京時間の背景色	Maroon
ロンドン時間の背景色	DarkGreen
ニューヨーク時間の背景色	DarkBlue
その他の時間の背景色	DimGray
夏時間：東京開始	9
夏時間：ロンドン開始	16
夏時間：ニューヨーク開始	21
夏時間：その他開始	1
冬時間：東京開始	9
冬時間：ロンドン開始	17
冬時間：ニューヨーク開始	22
冬時間：その他開始	2

読み込み (L) 保存 (S)

OK キャンセル リセット

Custom Indicator - YColor

バージョン情報 全般 パラメーターの入力 仕様 色の設定 表示選択

変数	値
冬時間：ニューヨーク開始	22
冬時間：その他開始	2
■ 高値・安値の表示	
高値・安値表示の文字サイズ	12
高値・安値表示の文字色	White
高値・安値表示の背景色	Black
高値・安値表示のローソク足の色	Orange
■ 日本時間の表示	
日本時間の縦線の色	Goldenrod
日本時間の縦線の種類	Dot
■ 攻防ライン	
攻防ラインの色	Yellow
攻防ラインの種類	Solid
■ 同期垂直線	
同期垂直線の色	Red
同期垂直線の種類	Solid
同期垂直線の太さ (実線Solidの場合)	3
線を引く位置 (右端から) (0:画面中..	0
■ 同期垂直線の日本時間の表示	
日本時間の配置基準	下
配置基準からの縦の距離	15
日本時間の文字色	White
日本時間の文字サイズ	11
■ FX業者	
FX業者の標準時	GMT+2/+3 (ほとんどの業者)
FX業者のサマータイム基準	欧州時間 (XMなど)

読み込み (L) 保存 (S)

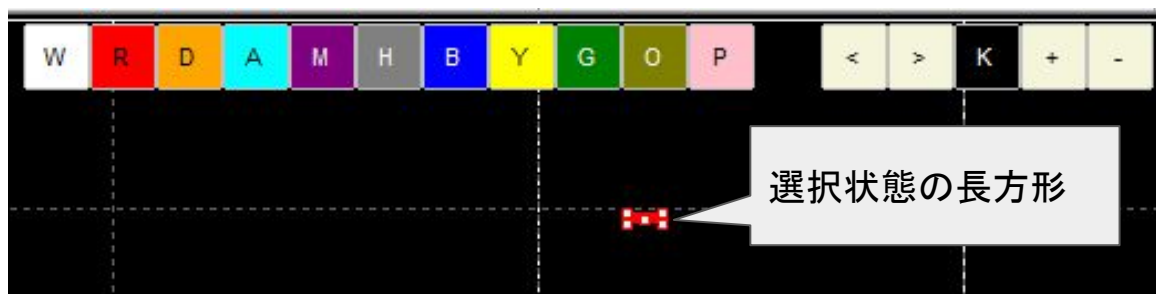
OK キャンセル リセット

5. 操作方法

- 5-1. 選択状態の長方形が1つもない状況で色をクリックすると、その色の長方形が作成される。



- 5-2. 1つ以上の長方形が選択されている状況で色をクリックすると、選択状態のすべての長方形が指定の色に変更され、非選択状態になる。11色パレットに表示されている英字をキー入力しても同様。

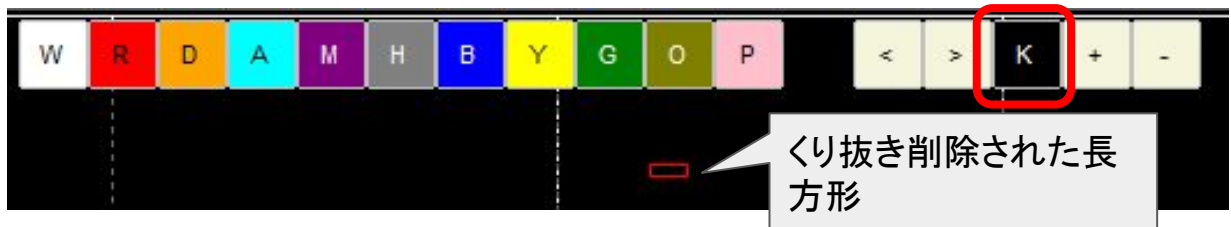


- 5-3. 変更したい色をクリックする代わりに、不等号(「<」、「>」)をクリックすることで、色を変更できる。不等号(「<」、「>」)をキーボード入力しても同様。

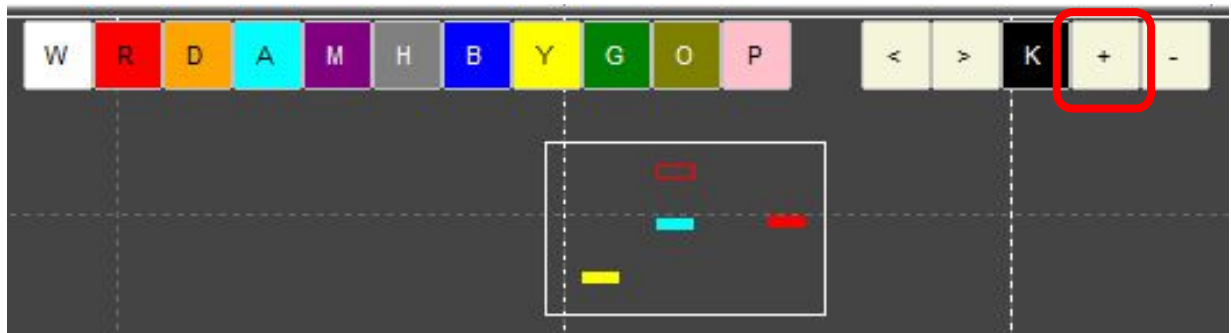


5-4. 1つ以上の長方形が選択されている状態で「K」をクリック または
キー入力すると、選択状態のすべての長方形が「くり抜き削除」され、
非選択状態になる。

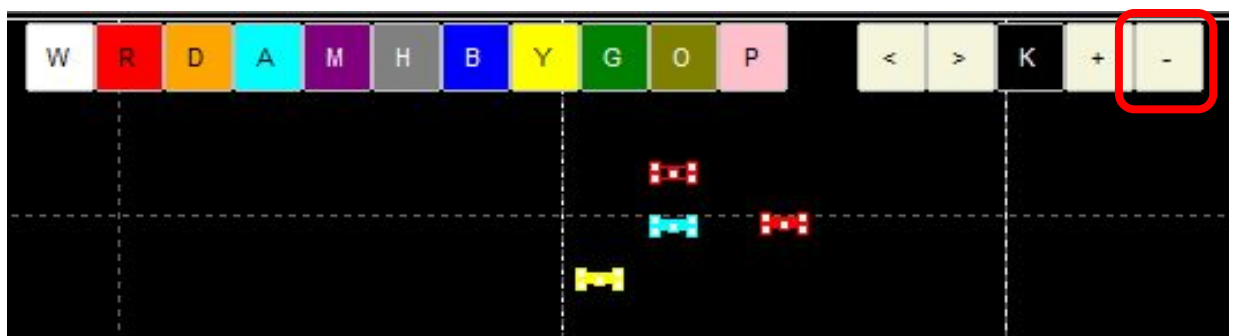
くり抜き削除されていた場合は、「背景塗りつぶし」に戻る。



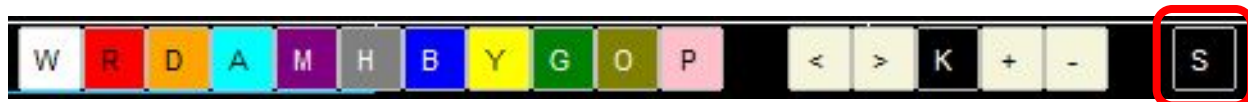
5-5. 「+」(範囲選択)をクリックすると、背景がグレー表示になり、
ドラッグ操作で範囲を選択できる。枠に含まれる長方形は選択状態になる。



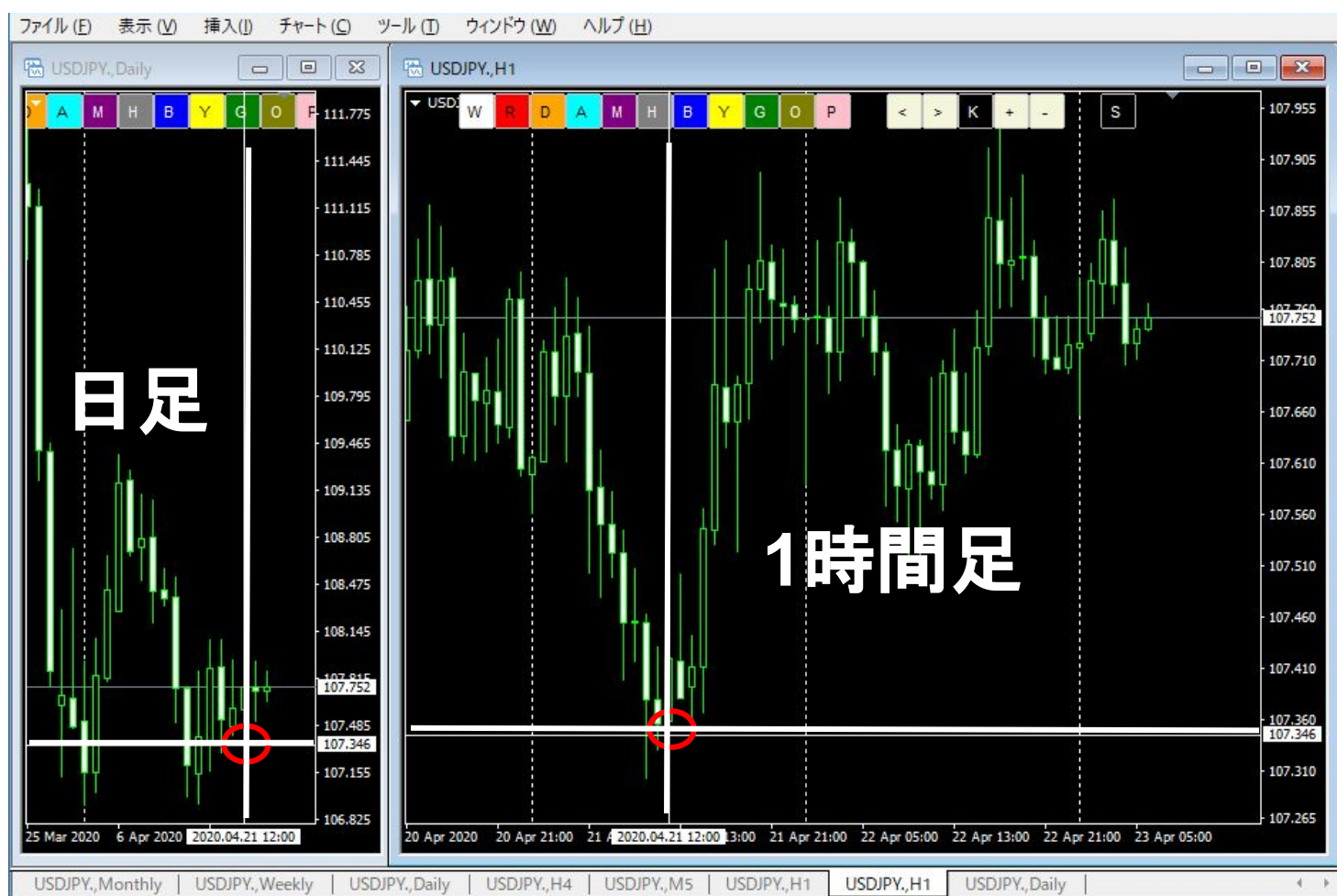
5-6. 「-」(すべてを非選択)をクリックすると、選択状態にあるすべての
長方形が非選択状態になる。



5-7. 「S」をクリック または キー入力すると、十字カーソルが表示される。 Yカラー
が設定されているすべてのチャート上で、十字カーソルが
同じ場所(同一日時)を指し示す。



十字カーソルの同期表示を消すには、「S」キーを押す。
(「S」をクリックしても反応しない場合があるため)

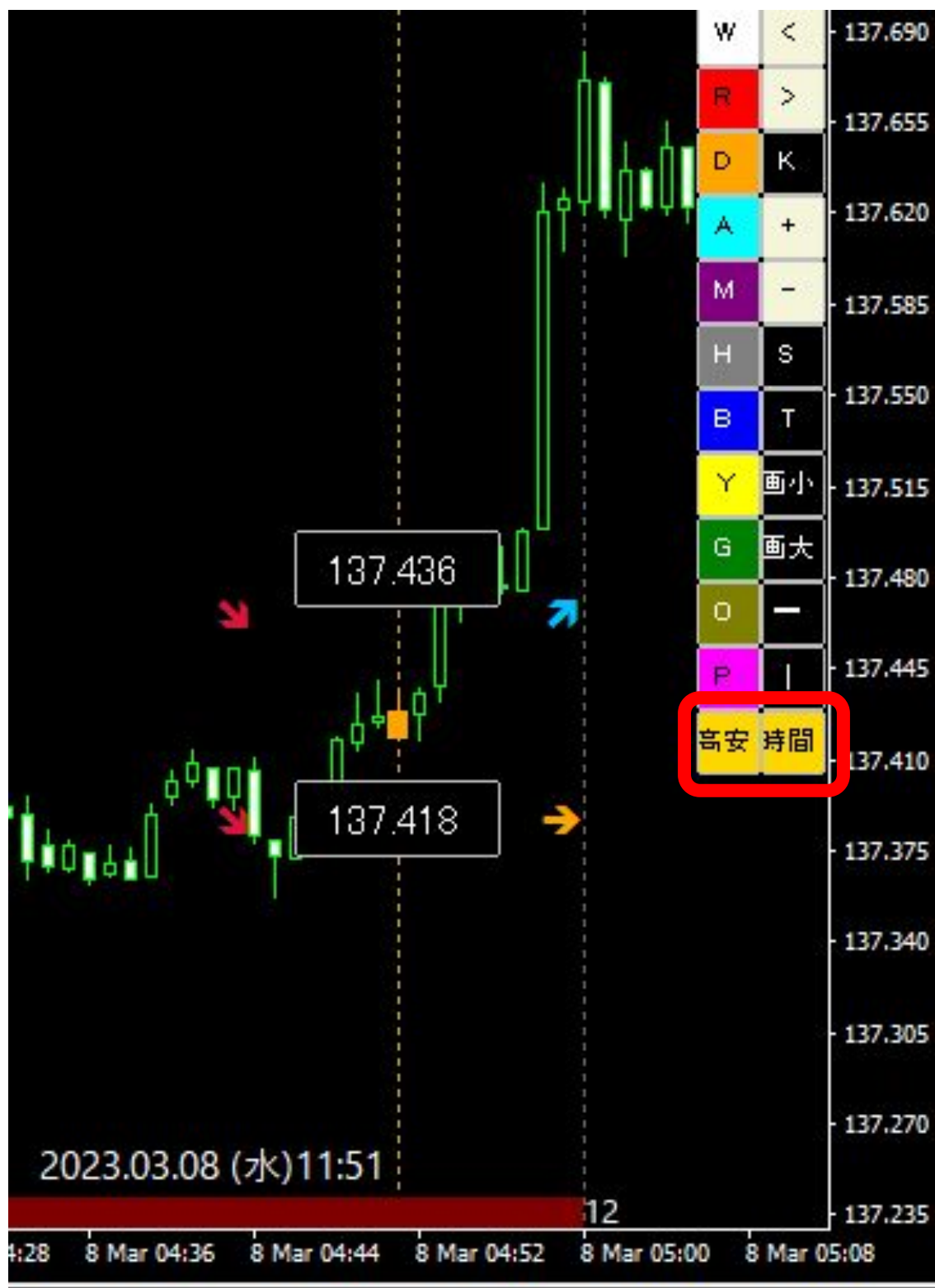


5-8. 「高安」をクリック、または、キーボードの「F」を押すと、

マウスカーソル上のローソク足の高値・安値が表示される。

前後のローソク足の高値・安値を比較して切り上げ・切り下げを矢印で表示する。

「時間」をクリックすると、マウスカーソルの日本時間が表示される。



5-9. 「T」をクリック または キー入力すると、トレード履歴が表示される。

(ターミナルの「口座履歴」タブに表示されている取引履歴が対象)

始点:「買い」は青矢印、「売り」は赤矢印

終点: 利確は青色のチェックサイン、損切りは赤色のストップサイン

線 : 利確は青色の線、損切りは赤色の線

マウスカーソルを線に合わせると、取引結果が表示される。

トレード履歴が削除するには、「T」をクリック または キー入力する。



5-10. 「画小」または「画大」をクリックすると、チャート画像がクリップボードにコピーされる。

「画小」: 該当チャートの画像がクリップボードにコピーされる。

「画大」: MT4全体の画像がクリップボードにコピーされる。



クリップボードにコピーされた画像は、トレード記録用ソフト(Excel等)に貼り付けて使用する。

※「DLLの使用を許可する」をONに設定する必要がある。

5-11. 「一」をクリックすると、黄色の短い水平線が作成される。



水平線の色は、パレットの色をクリックして変更できる。

水平線の長さを変更するには、Shiftキーを押しながら端の点をドラッグする。

5-12. 「|」をクリックすると画面中央に赤色の同期垂直線が作成される。

もう一度「|」をクリックすると同期垂直線が削除される。



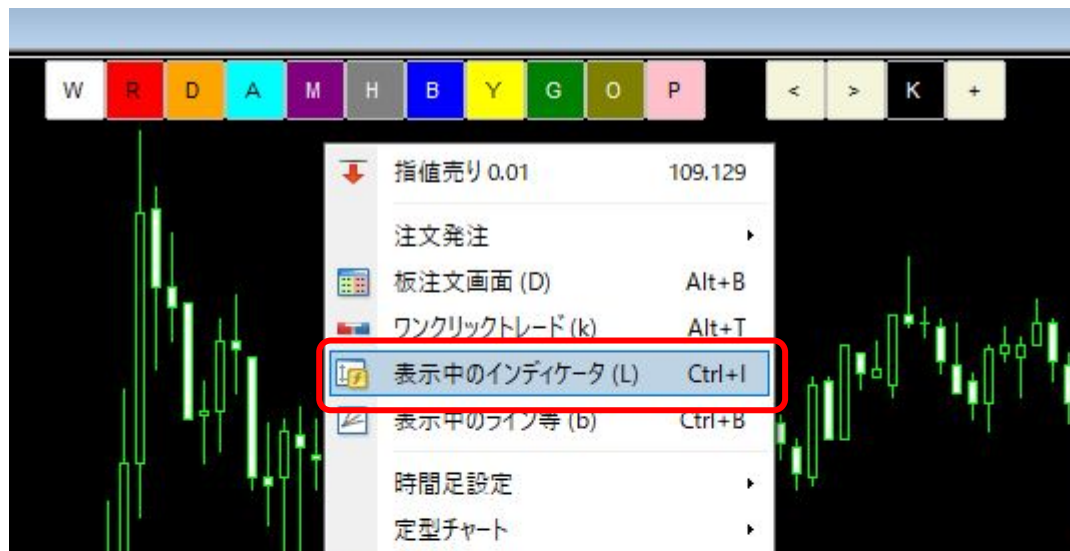
同期垂直線は、YColorが適用されている他のチャートと同期するため、日足と 1時間足で同じ日時を表示する時に役立つ。

また、1つのチャートの表示時間足を切り替えた場合、同期垂直線が画面中央に表示され続ける。

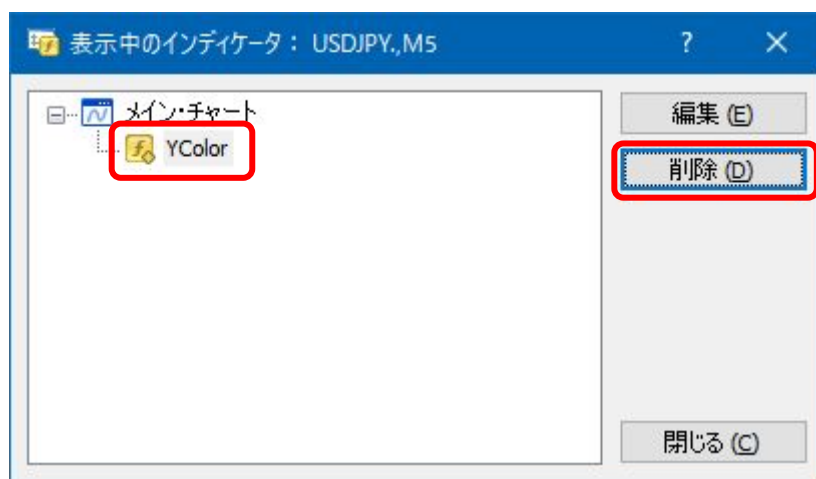
6. YColor インディケーターの削除手順

6-1. チャート内の余白部分を右クリック

[表示中のインディケーター] を選択。



6-2. YColorを選択して「削除」をクリックする。



6-3. 11色パレットが削除される。

パレットを用いて作成した長方形は削除されない。